

News Release

平成 23 年 3 月 31 日

報道関係各位

株式会社東京交通会館
銀座農園株式会社

『買い控えを吹き飛ばせ！福島・茨城の農家を応援しよう』 有楽町駅前・交通会館マルシェにて、4月1日(金)からスタート

株式会社東京交通会館(東京都千代田区有楽町、代表取締役社長:中川 洋夫)と銀座農園株式会社(東京都中央区銀座、代表取締役社長:飯村 一樹)は、東北関東大震災で被災した福島県、茨城県の農家、農業団体等が中心となって販売活動を行う『買い控えを吹き飛ばせ！福島・茨城の農家を応援しよう』キャンペーンを、有楽町駅前の交通会館マルシェ(農産物産直市場)にて4月1日(金)から、初日は5軒程度でスタートします。

東京交通会館が立地する東京・有楽町エリアは、昔から「すし屋横丁」と呼ばれるバラックや闇市場が開かれ、戦後の日本の復興の「元気」や「バイタリティー」の元祖のような土地でした。今、我々は痛んだ日本経済からまさに戦後復興のときのように元気にこの危機を乗り越えなくてはなりません。この地でまた「市がたち」、ここから日本を元気にしよう。そのような日本の希望が集ったプロジェクトが交通会館マルシェです。

目的

津波被害と原発事故被害によって、買い控えが広がっている福島、茨城の農家、農業団体等が中心となり、直接、消費者に正確な情報を伝えながら試食・販売することで、東北・関東の農作物を見直すきっかけを作っていきます。

内容

福島県・茨城県といった被災地に近い地域では、摂取や出荷の自粛制限が出ている農作物以外にも流通市場で買い控えが広がっており、このままでは農業への被害は大きくなる一方です。そこで、今回、本来は安心・安全と証明されている産地の農作物を中心に、農家、農業団体等が有楽町で直接説明しながら販売を行います。また、必要に応じて会場に準備した放射能測定器にて自主的に濃度測定しながら活動を行い、本キャンペーンの収益金の一部は被災地に義援金募金します。また、時期は未定ですが各後援団体の代表もPR活動を行う予定となっています。

概要

開催日程 平成 23 年 4 月 1 日(金)から 5 月 8 日(日)まで毎日開催

月～金曜日は 5 軒程度で小規模開催: 12:00～18:00

土・日・祝日は 20～25 軒で大規模開催: 11:00～17:00

開催場所 東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館ビル 1 階ピロティ部分

運営 主催: 株式会社東京交通会館

企画・運営: 銀座農園株式会社

後援 福島県、茨城県、JA 東西しらかわ、白河市、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、JA グループ福島、JA 茨城ひたち、北茨城市、かすみがうら市、全国肉牛事業協同組合、芝浦商店会・芝浦海岸町会商店会連絡協議会、芝浦運河ルネッサンス協議会、日本農業新聞、ほか調整中(3月31日時点)

URL <http://www.kotsukaikan-marche.jp>

事業仕分けで廃止となった農林水産省仮設型直売システム普及事業「マルシェジャパン」とは関係ありません。

お問い合わせ先

銀座農園株式会社 担当: 鈴木・板垣 (受付時間: 10:00～18:00)

TEL 03-6228-6565 / FAX 03-6228-6566 E-Mail: marche@ginzanouen.jp

